

船舶事故調査報告書

平成28年10月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| 事故種類 | 乗揚 |
| 発生日時 | 平成28年3月20日 12時11分ごろ |
| 発生場所 | 愛知県西尾市佐久島港内太井ノ浦防波堤付近 佐久島港太井ノ浦防波堤灯台から真方位199°500m付近 (概位 北緯34°42.9′ 東経137°02.8′) |
| 事故の概要 | プレジャーボートMOCA & COLONは、入航中、浅瀬に乗り揚げた。 |
| 事故調査の経過 | 平成28年6月2日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | プレジャーボート MOCA & COLON、6.6トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 235-51466 神奈川、FSマイクロ株式会社 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、一級小型 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | プロペラ軸の曲損、船底外板の擦過傷 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 6、視界 良好 海象：波高 約0.3m |
| 事故の経過 | <p>本船は、佐久島港に向け、船首尾共に約0.6mの喫水で航行を開始した。</p> <p>船長は、1年前から今回で3回目となる佐久島港に向けて、GPS機能付きの携帯電話を見ながら航行していたところ、同港の南に位置する筒島と佐久島とをつなぐ防波堤（以下「本件防波堤」という。）付近で船底を擦ったのを感じた。</p> <p>本船は、本件防波堤に北側から接近中、行きあしがほぼ停止した状態で本件防波堤付近の浅所に乗り揚げた。</p> <p>船長は、ふだん、GPSを接続したパソコンの電子海図を使用していたが、出航前、同パソコンの調子が悪かったので、代わりにGPS機能付きの携帯電話を使用していた。</p> <p>船長は、本事故後、着岸する予定の佐久島港太井ノ浦防波堤と本件防波堤を間違えて航行していたことに気付いた。</p> <p>船長は、GPS機能付きの携帯電話の画面は画像が粗く位置情報が正確でないと本事故後に思った。</p> <p>本船には、GPSプロッターが設置されていたが使用していなかった。</p> <p>本船は、乗り揚げに気付いた付近の漁船により救助され、佐久島港に入港した。</p> |
| 分析 | 本船は、佐久島港に入港中、船長が、本件防波堤を佐久島港太井ノ浦防波堤と間違えて航行したことから、本件防波堤付近の浅所に乗り |

| | |
|-----------|---|
| | 揚げたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、佐久島港に入港中、船長が、本件防波堤を佐久島港太井ノ浦防波堤と間違えて航行したため、本件防波堤付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 参考 | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・GPSプロッターの取扱い方法を確認し、活用すること。・事前に海図等で入港する港の着岸場所及び浅瀬等の位置を確認すること。 |